

## Ⅱ これまでの成果

前計画では、「競争力のある農産物づくり戦略」、「儲かる農業経営者の確保・育成戦略」、「『ふくいの食』販売拡大戦略」、「特色ある農業の活性化戦略」の4つを戦略として掲げ、平成30年度までの5年間で、以下のとおり成果を上げてきました。

【前計画の主な目標の達成状況】	(H25年度基準)	(H29年度実績)	(H30年度目標)
○米産出額	300億円	310億円	310億円
○園芸産出額	142億円	173億円	180億円
○農地集積率	67.6%	78.1%	80%
○販売額1,000万円以上の経営体	244経営体	454経営体	500経営体に倍増
○地域特産物の育成	362品目	393品目	400品目に拡大

## 【前計画の各戦略における成果】

### (1) 競争力のある農産物づくり戦略

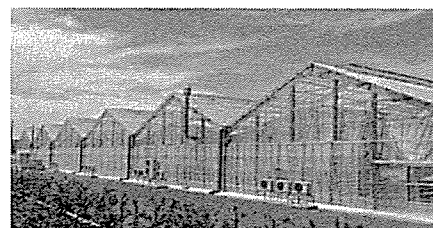
九頭竜川パイプラインを平成30年度に完工し、通水を開始した地域から順次コシヒカリの夜間かんがいなどによる品質向上に取り組みました。この結果、本県産コシヒカリは、平成24～30年度にかけて7年連続で食味ランキング「特A」評価を獲得し、米価が約1割上昇しました。また、平成28年度には、研究開発に6年の歳月をかけた新品種「いちほまれ」が完成し、30年度には本格生産を開始しました。

また、白ネギ、キャベツなどの集落園芸を約5倍に拡大したほか、嶺南を中心に大規模施設園芸を13か所に増やし、ミディトマト等の生産を拡大しました。

### (2) 儲かる農業経営者の確保・育成戦略

農地中間管理事業を活用し、集落営農組織等の法人化と併せ農地集積を進め、集積率は平成29年度には、78.1%に向上するとともに、複数の集落営農組織等を統合した100ha規模のメガファームを16組織設立しました。

また、ふくい園芸カレッジを平成26年度に開校し、29年度までに83名が坂井北部丘陵地や三里浜砂丘地など県内で就農しました。



### (3) 「福井の食」販売拡大戦略

新品種「いちほまれ」については、県内を始め、首都圏、関西・中京圏で販売を開始し、テレビCM・番組、雑誌などによる情報発信を行い、認知度向上を図るとともに、おいしさや特徴を直接消費者に伝えるコンシェルジュを店頭配置し、販売を拡大しました。

海外への販路拡大については、香港やシンガポール、タイで、食文化提案会などを開催し、米や日本酒、越前がになど本県農林水産物等の輸出を8億円に倍増しました。

また、ブドウなどの園芸生産を拡大し直売所の品揃えを充実することにより、農産物直売所の販売額を35億円に拡大したほか、野菜等の生産を体験し給食でおいしく食べる学校給食畑を全小学校で実施するなど地産地消を拡大しました。

### (4) 特色ある農業の活性化戦略

地域の気候・風土に育まれた越前しょうが、レタス、木田ちそサイダーなどの特産物や加工品の生産を拡大したほか、GI認証を6品目で取得しました。また、ふくい農業ビジネスセンターを平成28年度に開設し、里山里海湖ビジネスを102か所で開始しました。

中山間地域では、農作業を代行するアグリサポーターによる農作業支援を行うとともに、平坦地に比べて条件が不利な地域の営農の継続と農地の保全に向け、広域作業受託組織を8つ育成しました。

